

イ 科学情報の提供・学習支援

(ア) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内の公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行(5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、1・2月号、3・4月号)

計 40,000部

(イ) 天文相談コーナーの運営

天文指導員が主体となり、1 階エントランス内で宇宙空間シミュレーター「Mitaka」を用いた天文解説を行うとともに、観覧者からのさまざまな質問に答える天文相談を実施した。今年度からは大幅に開催頻度を上げ、毎週土曜日に実施している。

【実績】 46回

2 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(ア) 常設展示

「見て、触れて、考える」をテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらうための展示を行った。

(イ) 展示実演等

a サイエンスショー

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
4/1(火)～7/31(木)	「あると困る？ないと困る！摩擦力！」	340回	7,125名
5/3(土)～5/6(火休)	特別サイエンスショー 「いろいろなものを飛ばしてみよう」	4回	136名
7/12(土)、7/19(土)	「わっしょい！カラフルサイエンスショー」	2回	90名
7/26(土)～8/24(日)	「わっしょい！お祭りサイエンスショー」 ※ 夏の特別展事業として実施	60回	4,106名
8/1(金)～11/30(日)	「あーした天気になーあれ！」	344回	7,853名
12/20(土)	クリスマススペシャル企画 「いろいろなものを飛ばしてみよう」	2回	100名
12/1(月)～3/31(火)	「流れる空気で ふわふわ ぶかぶか」	312回	6,125名
1/5(月)～1/18(日)	「ぶかぶか しゅわしゅわ 温泉のひみつ」 ※ 冬の特別展事業として実施	13回	822名

1/5(月)～1/18(日)	「わくわく 入浴剤のひみつ」 ※ 冬の特別展事業として実施	26回	954名
2/14(土)	バレンタイン特別サイエンスショー 「ありがとう大作戦！」	2回	92名
毎週土曜日(通年)	「レモンのチカラ」 ※ ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社との連携	200回	6,131名

b ちょっとサイエンス

土曜日・日曜日・祝日に展示室の入口付近のカウンターで簡単な科学実験や実演を行った。

また、夏の特別展期間中(7/26(土)～8/24(日))は特別展示室内のブースで毎日実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	参加者数
4月	うずまきのイリュージョン	9回	5,668名
5月	振動パワー！水が噴き出す噴水魚洗	11回	3,533名
6月	マイクロスコープで小さな世界の発見！	9回	1,404名
7月(7/25(金)まで)	あっとおどろく！？カガミのせかい	7回	1,217名
夏の特別展期間 8/30(土)～31(日)	ふわふわ・ひらひら 水と氷のふしぎ ※ 夏の特別展事業としても実施	32回	12,935名
9月	どんとどんとける！熱伝導	10回	1,114名
10月	動き出すセロハン	9回	1,325名
11月	くつつく？はなれる？じしゃくでじっけん	12回	1,523名
12月	ペットボトルでたつまきをつくろう	6回	1,431名
1月	水に浮くもの、沈むもの	8回	862名
2月	シャボン玉ファクトリー	10回	1,962名
3月	IC カードのひみつ	10回	1,086名

c 低温プレイグラウンド

－30℃の低温展示室内で、氷等を使った実演・体験を行った。

またゴールデンウィーク期間には、送風機により風を送ることで通常よりも寒さを強く感じさせる「超低温プレイグラウンド」を実施した。

【実績】 通常実施 1日4回(定員 各回30名程度)

超低温プレイグラウンド 4回96名

(ウ) 実験・実習への協力

a 学習サイエンスショー

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
6/11(水)	「すごいな空気」(平岡小学校)	1回	45名
9/9(火)	「すごいな空気」(新琴似南小学校)	1回	68名
11/27(木)	「すごいな空気」(発寒南小学校)	1回	76名
2/27(金)	「すごいな空気」(ひまわり分校)	1回	5名

b 教育支援センター宮の沢オンラインコース

札幌市教育センターからの要請を受けて、不登校児童・生徒を対象にしたオンライン授業に協力した。

【実績】 11/12(水) 7名

2/3(火) 7名

イ 特別展等

(ア) 特別展

小中学生の長期休業期間に、特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示を開催した。

【実績】

実施期間	内容	来場者数
7/26(土)～8/24(日)	夏の特別展「へんしん！かがく屋台」	59,109名
1/5(月)～1/18(日)	冬の特別展「Oh！ふろ展～秘湯 科学のゆ～」	12,083名

(イ) 環境科学展

企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、子どもたちにわかりやすく紹介する科学展を開催した。

【実績】 11/1(土) 997名

(ウ) 中高生によるサイエンス広場

中学校や高等学校の科学部等に、研究成果を発表する機会を提供するとともに、生徒が企画・運営する科学体験ブースを設け、来場する子どもたちが体験できるイベントを開催した。

【実績】 12/6(土) 1,257名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(ア) 一般投影

職員による解説を含む投影で、年齢や理解度に応じて柔軟に対応し、市民にわかりやすい星座、天文の解説を行った。4/12（土）には、開館以来のプラネタリウム入場者数が累計で 500 万人に達した。

【実績】 1,390回 121,822名

(イ) 学習投影

小中学校を対象に、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、理科授業の一環として、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。

【実績】 155回 19,841名

(ウ) オート番組制作

プラネタリウム投影時に上映するオリジナルオート番組（ドーム全体に投影されるアニメーション動画）を青少年科学館の特色・独自性を生かして制作した。また、市販の番組上映権を購入し、プラネタリウム投影の充実を図った。

【実績】 「月の教室－見る・考える・分かる－」（オリジナルオート番組）

他番組上映権購入3本

イ プラネタリウム特別投影

(ア) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、タイムリーな話題や現象を深く掘り下げるなど、普段とは異なる切り口から企画した特別な投影を行った。

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
8/16(土)	「七夕特別投影 ねがいごとプラネタリウム」	1回	176名
11/8(土)、9(日)	ほし×こえ～声優星空プラネタリウム朗読会～	4回	717名
11/30(日)	熟睡プラ寝たリウム	1回	119名
2/7(土)、8(日)	SNOW MIKU ナイトプラネタリウム ～Twinkle Stars Harmony ♪5～	4回	661名

(イ) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な方々にも楽しんでもらえるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】 11/15(土)、16(日) 2回 307名

(ウ) キッズプラネタリウム

親子でプラネタリウムを楽しんで頂けるよう、未就学児とその保護者を対象とした投影を行った。昨年度は2回のみの実施だったが、今年度は隔月で実施した。

【実績】 5/15(木)、7/17(木)、9/18(木)、25(木)、11/20(木)、1/22(木)、3/19(木)
7回 609名

(エ) プラネタリウム祭り

プラネタリウムの魅力を広く市民へ伝えるために、オーロラの観望記録映像や、ドーム映像作家のアート作品の上映を行ったりするなど、普段行わない特別な内容の投影を数日にかけて実施した。

【実績】 12/6(土)、7(日)、13(土)、14(日) 3,496名

ウ 天体観望事業

(ア) 科学館観望会

科学館公園や館の玄関前、駐車場や屋上など館の敷地を活用し、誰でも気軽に参加できる天体観望会を開催した。望遠鏡を用いて各季節の星や月の観望を行い、天体に対する興味関心を喚起した。

【実績】 8/16(土)、11/30(日)、3/3(火) 3回 約400名

(イ) 札幌市天文台公開

天文に関する興味関心を高めるため、札幌の中心部にある中島公園内の札幌市天文台を公開し、日中は太陽を中心に、夜は月や季節の星座を中心に観望会を実施した。

【実績】 633回 26,586名

(ウ) 昼間の星を見よう！

青少年科学館正面玄関前に望遠鏡を立て、開館時間中に日中の太陽や金星等の様子を観望する会を実施した。

【実績】 18回

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

青少年科学館の行事を掲載した広報誌を発行し、市内の公共施設、幼稚園、小中学校などに配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】 12回 計 79,000部

イ 科学館運営協議会の開催

青少年科学館の事業や運営についての意見を今後の改善に生かせるよう、外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】 3回(7月、11月、2月)

ウ 利用者などの声を生かす取り組み

青少年科学館の運営や事業に活かすため、利用者へのアンケート調査を行った。

【実績】 接遇満足度:回答数 1,804件 好意的評価の割合 89.5%

総合満足度:回答数 1,804件 好意的評価の割合 91.6%

エ 科学館開館記念感謝デー

昭和 56 年 10 月の青少年科学館の開館日に合わせて、館内をめぐるクイズラリー等を行った。

また、開館以来の来館者累計 1,500 万人達成を記念して、セレモニー等を行った。

【実績】 10/4(土) 1,400名

【自主事業】

科学及び科学技術普及振興事業

青少年を主とした幅広い年齢層を対象に最新の情報や技術に触れる機会を提供し、科学及び科学技術に関する知識の普及振興を行った。

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 他施設への職員派遣

他施設や団体からの依頼に応じ、職員派遣や研修受け入れを行った。

a 他施設での実演

【実績】

実施日	内容	施設・団体等	参加者数
6/28(土)	「ちょびっとサイエンスイベント」 (札幌看護医療専門学校 学園祭)	札幌看護医療専門学校	150名
8/6(水)	「2025 サイエンスパーク」	札幌市経済観光局	664名
8/30(土)	「災害対策フェスタ」	アルティウスリンク株式会社	384名
9/19(金)	「厚別区女性部連絡会議研修会」	厚別区女性部連絡会議	19名

b 他施設での投影

院内学級や特別支援学校からの依頼を受け、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 9/10(水) ひまわり分校 2回 31名

1/21(水) ひまわり分校 2回 20名

物品販売等事業

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

青少年科学館の来館者へのサービス向上を目的として売店事業を行った。商品ラインナップの強化や販売促進を行い、増収増益を図った。

(2) 自動販売機の設置・販売

生涯学習センター、青少年科学館ともに、来館者へのサービス向上を目的として自動販売機の設置を行った。

中期経営計画 重点取組事業

中期経営計画は、令和6年度～14年度の9年間で指定管理期間に合わせて2期に分け、令和6年度～9年度を経営的に「凌ぐ」とともに令和10年度以降に「備える」期間(第1期)と、令和10年度～14年度(次期指定管理期間)を「第1期の備えをカタチにする」期間(第2期)とそれぞれ位置付けている。

政策体系としては、経営ビジョンの3点に「安定経営を目指す」を加えた4本柱とし、これらの柱に8つの「重点取組事業」をひもづけている。

8つの「重点取組事業」の内容および令和7年度の取り組みは以下のとおりである。(科学館分のみ抜粋して掲載)

1. 青少年科学館魅力アップ事業

リピーターの確保や新規来館者の開拓に資するよう、事業や展示物の充実を図る。

【令和7年度の取り組み】

プラネタリウムにおいて、アニメキャラクターを起用した番組や声優による朗読劇などを展開し、集客に努めた。

2. 青少年科学館利便性向上事業

団体向けオンライン予約や当日券販売における自動券売機、キャッシュレス支払いの導入など、スムーズな来館者受付手続きを進め、利用者の利便性向上を図る。

【令和7年度の取り組み】

経営的に導入が厳しい状況であり、中期経営計画の「進捗管理」の考え方に則り、導入を延期することとした。

◆ 札幌市青少年科学館

◇観覧者数

		令和 7 年度			令和 6 年度
		個人（人）	団体（人）	合計（人）	合計（人）
展示室	大人	123,254	10,631	133,885	196,317
	小人	108,309	42,350	150,659	212,989
小 計		231,563	52,981	284,544	409,306
プラネタリウム	大人	63,321	4,809	68,130	91,468
	小人	47,089	26,530	73,619	93,974
小 計		110,410	31,339	141,749	185,442
合 計		341,973	84,320	426,293	594,748
1日あたりの観覧者数 （人）		1,431			1,982